

物にココロをふきこもう

身近な筆記用具、ハサミ、スプーンなどなど、普段は絶対動かない物にココロを吹き込んで動かしてみよう！！

アイパットの『KomaKoma』アプリを使ってコマ送り動画を作ってみよう！！

物にココロを与えたら一体どんな動きをしてどんな事を考えているんだろう！？



『推奨学年』 小学生
『時間』 40分～60分
『定員』 10名

主な利用ツール:

会場条件: 特になし

作品の持ち帰り: 印刷した物は可

持ち物: 動かしてみたい物

ワークショップの狙い

- ・物にもココロあるという事を考えてもらい想像力を養ってもらう。
- ・物を大事にするココロが芽生えるかも！？

ワークショップ手順

写真	手順	子ども達への働きかけ	時間
	<p>導入 まず、アイパットを使い Appストアを開き『KomaKoma』と検索。 KomaKomaアプリを入手。(無料)</p>	<p>導入はワークショップ前に準備しておく</p>	



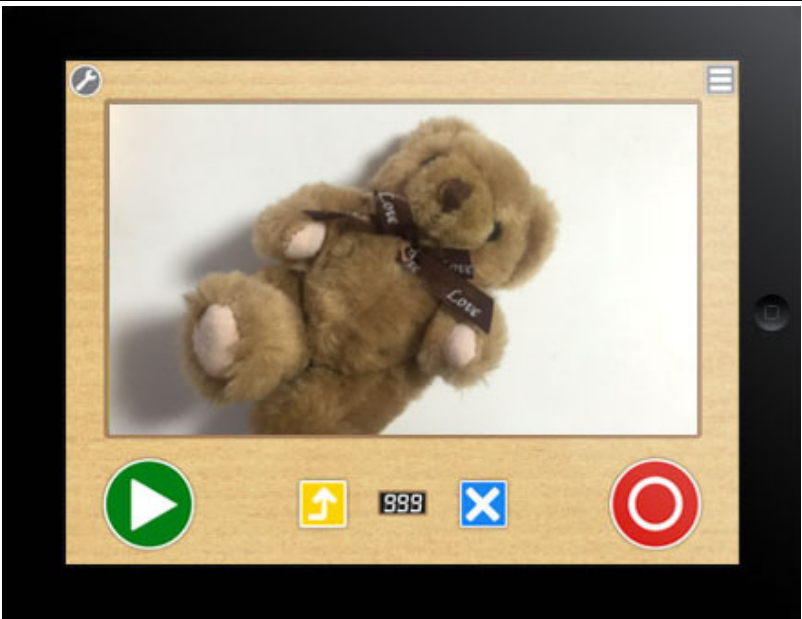

Appストアでローマ字で『KomaKoma』と検索
 注:ローマ字入力ではないとヒットしないので注
 意が必要。

導入はワークショップ前に準備しておく



アイパッドにアプリをダウンロードする。

導入はワークショップ前に準備しておく

	<p>まずは、作品例を子供達に見せます。</p>	<p>ワークショップを始めます。</p> <p>感動をしてもらい、興味を持ってもらいます。</p>	<p>5分</p>
	<p>2 操作説明</p> <p>各種ボタンの機能の操作説明や使い方を説明する。</p> <p>KomaKomaアイパットの主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影/削除(1コマ・全削除)/ループ再生/保存 ・999コマまでの撮影(LITE版は18コマまで) ・撮影画像サイズ:720p(1280*720/16:9) ・フレームレートの変更(1fps~30fps) ・カメラ映像の上下左右反転 ・透かし表示(オニオンスキン)のON/OFF ・インターバル撮影(3秒~10分) ・カメラロールへのムービー保存 ・パラパラ漫画形式の画像データをメール貼り付け(1シート18コマ) 	<p>仕組みを学んで貰う。</p> <p>実際にアイパットを使って参考程度に動作説明をする。</p>	<p>5分</p>

	<p>実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にコマ送り動画を作成する。 ・その際に物にココロを与える雰囲気づくりに動かす物に目玉シールを貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目玉シールを配る。 ・悩んでいる子供にアドバイスする。 	<p>20分～ 30分</p>
 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を考えてもらう。普段身近に使っている物や道具一体何を考えているのか？など ・コマ送り動画なので動きも付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる子供にアドバイス <p>基本は子供達の自由に。</p>	



発表会

・物にココロを与えたら？をテーマにした作品の発表会みんなで輪になって1人ずつ作品を発表して貰う。

作品を褒める。

「どうしてそんな事を思いついたの？」などの質問をして子供達に発表しやすくなるように配慮する。

10分

- ※ ファシリテーターは正解を与えず、子供たちの想像力が発揮できるように促す。
- ※ 子供たちが喧嘩に発展してしまった場合は何故そうなったのか話し合いをさせる。
- ※ 先の答えを与えず、その先が想像出来るように進行する。